

2012年4月16日

要 請 書

愛媛県知事 中村時広 殿

福島原発の事故も収束しておらず原因究明もできておらず、また東海・東南海・南海の3ないし4連動地震の脅威が叫ばれる今、四国電力と安全協定を結んでいる当事者として伊方原発3号炉を再稼働しないことを表明すること。

以上
「伊方原発の再稼働を許さない市民ネットワーク」一同

4月15日

集 会 宣 言

"3.11"の東日本大震災を直接のきっかけとして起こった福島原発事故は、私たちに原発の事故がいかに恐ろしく、悲惨で、取り返しのつかないものであるかを思い知らせました。再びこのような事故が起こればこの国は終わると感じているのは私たちだけではないと思います。

にもかかわらず野田政権はストレステストや暫定的な安全基準という小手先のごまかしで再稼働を正当化し、大飯原発を動かそうとしています。福島原発自体まだ非常に危険な状況にある中で、なんとという無責任な企てでしょうか！

伊方原発は日本最大の活断層・中央構造線からわずか6kmのところであり、破碎帯という崩れやすい地質のただなかに建っています。東海、東南海、南海地震が起これば東日本大震災と同じような巨大地震になることが予想されています。

福島原発事故の最大原因が津波ではなく地震であったことを考えると、伊方原発も福島原発と同じような事故になることは十分に予想されます。もしそうなれば、私たちの住む四国、九州、中国地方は広く放射能に汚染され、閉鎖海域である瀬戸内海は放射能の海になり、二度と美しい、漁獲豊かな海に戻る日は来ないのです。さらに原子炉からもれ出た放射能の雲は偏西風に乗って日本列島をなめ尽くすでしょう。

私たちは大飯原発の再稼働を許さないことは勿論、伊方原発の再稼働を決して受け入るなという強い要請を愛媛県知事や議会に届けるため今日ここに集まりました。

福島原発の事故で、原発から100km、200kmいや日本全国が被災してしまうことがわかりました。これから各自の住む自治体に帰り、各々の県、市、町にも伊方原発再稼働「NO!」の声をあげるよう働きかけていきましょう。

2012年4月16日

要 請 書

伊方町長 山下和彦 殿

福島原発の事故も収束しておらず原因究明もできておらず、また東海・東南海・南海の3ないし4連動地震の脅威が叫ばれる今、四国電力と安全協定を結んでいる当事者として伊方原発3号炉を再稼働しないことを表明すること。

以上
「伊方原発の再稼働を許さない市民ネットワーク」一同

4月15日

集 会 宣 言

"3. 11"の東日本大震災を直接のきっかけとして起こった福島原発事故は、私たちに原発の事故がいかにも恐ろしく、悲惨で、取り返しのつかないものであるかを思い知らせました。再びこのような事故が起こればこの国は終わると感じているのは私たちだけではないと思います。

にもかかわらず野田政権はストレステストや暫定的な安全基準という小手先のごまかしで再稼働を正当化し、大飯原発を動かそうとしています。福島原発自体まだ非常に危険な状況にある中で、なんとという無責任な企てでしょうか！

伊方原発は日本最大の活断層・中央構造線からわずか6 kmのところであり、破碎帯という崩れやすい地質のただなかに建っています。東海、東南海、南海地震が起これば東日本大震災と同じような巨大地震になることが予想されています。

福島原発事故の最大原因が津波ではなく地震であったことを考えると、伊方原発も福島原発と同じような事故になることは十分に予想されます。もしそうなれば、私たちの住む四国、九州、中国地方は広く放射能に汚染され、閉鎖海域である瀬戸内海は放射能の海になり、二度と美しい、漁獲豊かな海に戻る日は来ないのです。さらに原子炉からもれ出た放射能の雲は偏西風に乗って日本列島をなめ尽くすでしょう。

私たちは大飯原発の再稼働を許さないことは勿論、伊方原発の再稼働を決して受け入るなという強い要請を愛媛県知事や議会に届けるため今日ここに集まりました。

福島原発の事故で、原発から100km、200 kmいや日本全国が被災してしまうことがわかりました。これから各自の住む自治体に帰り、各々の県、市、町にも伊方原発再稼働「NO！」の声をあげるよう働きかけていきましょう。